

教科目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造的活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。				
		<p style="text-align: center;"><b>3学年の目標</b></p> <p>(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>(2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>(3) 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>				
月	題材名	時数	学習内容	学習のねらい	評価項目	道徳関連項目
前期 18時間	4・5・6・7・9 《B鑑賞》 《A表現》 超現実的な世界 - 点描画 -	14	・自ら設定した主題をもとに、夢や想像したことなど心の世界を、シュルレアリスムの手法を使って創造的に表す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な表現方法の中から自分らしい表現を工夫し、よりよい制作をしようすることができる。</li> <li>・夢や想像など心の中を表現しようと工夫し、発想や構想をすることができる。</li> <li>・多様な表現方法や表現材料を工夫し創造的に表すことができる。</li> <li>・作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取ったり味わったりできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・練習プリント</li> <li>・作品</li> <li>・自己評価</li> <li>・感想</li> </ul>	
	9・10・11・12 《A表現》 手づくりの楽しみ - てん刻 -	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石を彫る、てん刻の技法を理解し、生活に潤いを与える印鑑のデザインし、手づくりのよさを生かしてつくる。</li> <li>・朱文や白文の特性について理解し、印面や紐をデザインから完成までの工程を理解し制作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てん刻に関心を持ち、完成まで計画的に制作することができる。</li> <li>・手づくりの温かさを大切にして、朱文や白文の特性を生かした印面のデザインをすることができる。</li> <li>・朱文や白文のてん刻の技法を理解し、計画的に制作し、安全で効果的な用具の使い方や自分のイメージに合った表現方法を考へて作品を制作することができる。</li> <li>・自分や友だちの作品から手づくりの温もりや作品のよさを感じ取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習プリント</li> <li>・作品</li> <li>・自己評価</li> <li>・感想</li> </ul>	4-(9) 伝統の継承
後期 17時間	12 《B鑑賞》 日本絵画の 造形美	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代中期に熟成した日本絵画の造形の特徴を代表的絵師の作品を通して理解し、それぞれの個性的な展開を味わう。</li> <li>・日本絵画の独自の表現と西洋流の手法を取り入れた表現とを比較し、それぞれのよさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸中期の絵画に見られる日本的な表現の特色や個性的な展開に興味を持ち、西洋的表現の取り入れ方にも着目しようすることができる。</li> <li>・江戸中期の代表的絵師たちの個性や造形方法の違いを見分けることができるとともに、それぞれのよさを味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習プリント</li> <li>・感想</li> </ul>	4-(8) 先人への 尊敬と感謝
	1・2・3 《A表現》 感謝の気持ちを 伝えよう - 絵手紙 -	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりと対象を観察することを通して、よさや美しさを発見しようする気持ちを大切にす。</li> <li>・もの見方や感じ方を深め、対象の形や色彩の特徴をとらえて自分らしく表現するなどしてスケッチに親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品鑑賞に親しみ、水墨画や絵手紙の制作に楽しく取り組むことができる。</li> <li>・自分の思いを豊かに絵手紙に表すことができる。</li> <li>・水墨画や絵手紙の技法を学び、特徴を生かして表現することができる。</li> <li>・洋画と日本画の表現の違いや特徴を知り、日本の伝統的絵画よさを感じ取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・学習プリント</li> <li>・作品</li> <li>・自己評価</li> <li>・感想</li> </ul>	2-(2) 思いやり 2-(5) 個性や立場 の尊重 2-(6) 感謝・報恩
		35				
学習のアドバイス		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備物を忘れずにきちんと揃える。</li> <li>・授業に集中して取り組む。</li> <li>・途中であきらめず、最後まででいいいに作業をすすめる。</li> <li>・作品等の提出物を期日までに出す。</li> <li>・美術作品や学校の友だちの作品をしっかりと鑑賞し、授業の目標に沿って具体的に感想文を書く。</li> </ul>				